

明治大学人文科学研究所紀要 第四十三冊  
(1997・12) pp. 141—155

## New Sports の台頭

真 柄 浩

— *Abstract* —

## Rise of “New Sports”

Hiroshi MAGARA

The purpose of this study is to discuss the background of so-called “new sports”, which has appeared recently, and to try to classify them.

The main feature of “new sports” would be the ease to play in many aspects, such as place, time, person and etc..

“New sports” could be classified into six types as follows, compared with so-called “popular sports” which have been already widespread. The first type of “new sports” includes original sports which was actually created lately. Sports that was developed by improving “popular sports” could be categorised as the second type of it. The third type could be sports which was composed by plural “popular sports”. The forth type could contain ones that was simlified “popular sports”. The fifth type could be a kind of sport which was played by a certain ethnic group, has come to another area and spread. Sports that men played mainly before but now women have gotten to play could be the sixth type of “new sports”. Some of them could not be classified into this six categories.

To make “new sports” spread more in the future, studies on the risk of injury, the intensity and the duration, adding to the relevant political suppots, would be needed.

## 《個人研究》

## New Sports の台頭

真 柄 浩

## はじめに

今までにない目新しいスポーツに注目が集まっている。これらのスポーツは総称して New Sports と呼ばれている事が多い。これは世界各国に共通した新しい傾向である。この New Sports をカタカナ表記するとき、ニュースポーツ、ニュウスポーツ、ニュー・スポーツ、ニュウ・スポーツなど様々であるが、一般的にはニュースポーツを使っている。この様な世界的に New Sports が台頭する現象を表す言葉としてそのまま英文表記で New Sports を使用している例も見受けられる。

近年、新種の競技が公に認められ、大会として定着してきたり、職場の昼休みに新しいレクリエーションスポーツが行われたり、学校体育の場で目新しいスポーツ教材が取り上げられたりするようになった。それらは、現在行われているスポーツを改革・発展させて誕生したもの、あるいは自然発生的に成長・発達を遂げたもの、人為的にある種の目的を持って創造されたものなど様々である。広島で開催されたアジア大会においてはカバティ、セパタクローなど耳慣れないスポーツも正式競技として採用されてきている。このスポーツは民族的、地域的色彩が一つの特徴と言える。シドニー・オリンピックに正式採用が決まったトライアスロンや近年人気のデュアスロンなどは既存スポーツを複合・改編して競技化されてきた。

現代はもっともスポーツ文化の成熟した時代を迎えていると言って良い。高度に磨かれた技術と強靱な肉体を要求されるチャンピオンスポーツ。一般市民ランナー参加型の社会体育・スポーツ。健康維持・増進の治療リハビリテーションスポーツ。ストレス解消簡単ルールのレクリエーション軽スポーツ。ケーブルチャンネルで中継されるメディアスポーツ。これらのスポーツ文化の中で、ニュースポーツは、まさにニューが主張するように、新競技、新種目である。目新しさが最も基本的な概念である。その一方で、いつでも、どこでも、だれでも、すぐできるニュースポーツ、あるいは、親しみやすく、大がかりではなく、手軽に、さらには、やわらかいスポーツなどと理解されている側面も持ち合わせている。

ニュースポーツの収集・分類を第一義的に考え、ニュースポーツ台頭の背景や、その定着・発展などの将来性について考察した。

## スポーツの語源

日本語のスポーツなる名辞は sport のカタカナ表記であって、現在の言語学的研究からその語源はラテン語の *deportare* に遡るとされている。de が方向を表し、portare が移動を意味している。退屈な状態からの移動、気晴らしが原義である。この言葉が、古くラテン語の *desporter* や古英語の *desport* などを経て、接頭語の消えた sport に形を変えて来た。語源的には、もっぱら気分転換、休養、娯楽などの概念を現す言葉として変遷してきている。身体活動を伴った気晴らしを言うようになったり、もっぱら狩猟を指す言葉として使われてきたりもした。あるいは、勝負ごとによる賭博や、他人への見せびらかし行為、見世物などもスポーツと呼ばれてきた。現在においては、運動、競技、狩猟、登山、釣り、娯楽、遊戯、ゲームなどを含む広範な活動を意味する言葉として広く使われており、世界中で最も広範に通用する単語の一つである。

我が国においては、1814（文化11）年に発刊された「諳厄利亜語林大成」に sport の項目が載り、その後1884（明治17）年の丸善「百科全書」に狩猟を表す言葉としてスポルツが使われたものがその最初であろうとされている。そのスポルツは、のちに、スポルト、スポーツ、などを経て、スポーツと表記されるに至り定着してきた。

## ニュースポーツの定義

今までにない目新しいスポーツ、強いて言えばこれがニュースポーツなる定義となろう。さらに、楽しむためのスポーツである事がニュースポーツの基本的理念である。いつでも、どこでも、だれでも、すぐにできる事、あるいは、親しみやすく、大掛りではなく、手軽な、やわらかいスポーツなどと言い換える事もできるかも知れない。いわゆる伝統的なスポーツとニュースポーツの境界線を見つける事は簡単ではない。我が国で武道として発展し、長い歴史を持つ柔道が、新しいスポーツあるいはニュースポーツとして世界各国に普及して行った例を見ればわかるように、ある国においては土着の民族スポーツであっても、ある国においては目新しいニュースポーツなのである。その国にとって古い伝統を持つ野球やサッカーでさえ、ルールの簡素化、グラウンドの縮小化を図ればたちまち今までにない価値観が生じ、ニュースポーツとして親しむ事ができる。視点を変える事により、ありとあらゆるスポーツがニュースポーツの範疇で論じられてもおかしくはないのかも知れない。

## ニュースポーツ台頭の背景

現代スポーツ文化の特徴は多様化である。高い節制と切磋琢磨を求められ、身を削るような激しいトレーニングをする事で成り立つチャンピオンスポーツ、従来からの伝統的なスポーツ、シティー馬拉ソンで代表される市民スポーツ、あるいはマニャックなスポーツ、また一方では見るスポーツの発

## New Sports の台頭

達など様々である。この様なスポーツ文化の中にあって、世界的な傾向としてニュースポーツの台頭がある。これらのスポーツ文明を取り巻く社会的な構造や経済的な機構にも大きな変革を余儀なくしている。ニュースポーツ台頭の背景について考えてみる。

### 民族スポーツ

ニュースポーツの解釈は世界各国の地域性なり、民俗性により異なってくる。さらには、年齢層や、性別によっても、あるいはおかれた環境により各人個々によっても違う。わが国においては、従来のいわゆる野球、サッカー、柔道など伝統的スポーツに対して新種の競技であるニュースポーツの台頭が著しい。しかし、ついこの前までは、野球もサッカーも我が国においてはニュースポーツであったはずである。同じように、ついこの前までは、世界の各国において柔道はやはりニュースポーツであったはずである。わが国においてクラロス、カバディ、セバタクロ、テコンドーは最もニュースポーツらしいニュースポーツであり、これらのスポーツを我々は、しばしば民族スポーツと呼んだりする。ある国や地域においてはそれが長い歴史的な伝統の上に成り立っているスポーツであって、決してニュースポーツではなかったりする。多くの場合、ニュースポーツは誕生の過程を遡るとその源流は、民族的なスポーツにあると言っても過言ではないであろう。ほとんどのニュースポーツが民族的スポーツの側面を有している。

### 教育スポーツからの乖離

明治時代以降に、外国から次々に紹介されるスポーツは、当初ニュースポーツであった。しかしながら、またたく間に国民の間に受け入れられ、ニューの印象もとれて、確固たる伝統的基幹スポーツの地位を築き上げて来た。その傾向は教育の現場で特に顕著である。その背景には「スポーツ＝体育」なる思想がある。

顕著な例は発足当初からスポーツの連合体を日本体育協会と呼称したり、学校教育のなかでクラブスポーツ活動を体育活動と言ったりするところにある。教育の場においては、スポーツは日本伝来の武道的な範疇に含まれ、人間修養の過程を貴ばれる修業の道であった。正にスポーツ道なのである。この考え方が全てを言い表しているとは思わないが、関係指導者の間ではこの様な努力が成されてきたのも事実である。この様な教育スポーツからの乖離がニュースポーツにはある。校庭から飛び出していくスポーツがある。管理された体育会のスポーツ活動を離れて自由な雰囲気と同好会スポーツの盛況ぶりなど、勝利至上主義ではないスポーツの原点に立ち戻ってスポーツを楽しむ風潮もニュースポーツの根底にある。

### ニュースポーツ運動

国民の健康問題、高齢化、余暇問題などを考えるときにニュースポーツの存在が大きくクローズアップされ支持されてきた。世界の文明先進国が、直面する問題の打開策として、スポーツを国民に開放されたものとして普及させ、定着させようと取った政策に共通性がある。イギリスの「スポーツ・

フォー・オール」運動、アメリカの「ニューカルチャー」運動、ノルウェー・北欧・ヨーロッパの「トリム」運動、旧西ドイツの「ゴールデン・プラン」運動、「第二の道」運動などがこれに当たる。これがニューカルチャー運動、ニュースポーツ運動である。ここで考えられたのは、高い技術、競争原理の支配するスポーツと違い、年齢や性別を超えて、誰でもが楽しめる新しい考え方を持ったスポーツの提供である。既存スポーツの簡易化、新スポーツの創造、用具の大衆化などが積極的に奨められた。

### 地域活性化

ニュースポーツのもう一つの側面は、参加者が徹底的にスポーツを楽しむイベント性があげられる。イベント性や目新しさから、「ふるさと創生一億円事業」でニュースポーツを選択し、町おこしや地域社会の活性化を図った市町村も多い。トライアスロンの例で検証してみる。

トライアスロンは水泳、自転車、マラソンを連続して行いタイムを争う競技でハワイが発祥とされている。山形県温海町のサンセットビーチトライアスロン大会もハワイの大会と同じように「それは酒の席から始まった」と自然発生的に誕生した。両者の違いは、その時のメンバーが実際に競技を楽しんだハワイに対して、温海は指導者的立場の人が多く、競技より大会の運営を楽しんだ事と、ふるさと創生の一翼を担った事ぐらいである。温海大会は求心力として厳島神社の存在が大きい。年に一度の「村の鎮守様のお祭り」にトライアスロン競技が奉納されている。10回を終わり温海町が大会継続を決めた背景に、町長の言う村の活性化、社会づくり、人づくりが地元を受け入れられている事がある。さらに、警察署はじめ関係諸機関の絶大なる理解と協力、町民の期待と絶好のロケーション、お祭りを楽しみ「選手を大切に、役員も楽しく」の基本的コンセプトがある。なにより温海でなければの多数回出場選手の多い事が挙げられる。応募者・参加者57名、予算70万円で始まった大会も、10回大会では応募者350名、参加者242名、650万円の大会に発展し、ニュースポーツのトライアスロンは地域社会の活性化に多大なる貢献をしている。

### ニュースポーツの分類

ニュースポーツを収録し、分類する事により、よりニュースポーツの現状や性格がはっきりしてくる。ニュースポーツの収録に当たっては、比較的容易に閲覧の可能なスポーツ大百科、最新スポーツ大事典、大百科事典などを大本とし、文末に示した複数の参考文献に従った。カタログやマスコミなどに紹介されたニュースポーツについても積極的に収集した。ニュースポーツの名称、競技の細分化された実施種目名称、競技総称名、和名称、外来語名称、実施競技分類名称など未整理に使用された名称も多いが、ここでは、第一義的にニュースポーツ名称の収集・収録する事とし、これらも含めて行ったものもある。分類については、テニス型、バレーボール型、ゴルフ型など現行かつポピュラーな形式で分類する方法が考えられる。ネット対面型、ラケット型、打ち返し型、ゴール型、人数別、ボールとの接触部位別なども考慮に入れられる。運動量、技術難易度、勝敗決着方法別も考えられる。他に占有空間別、発祥地域別、複合性別制、対象年齢制、総合均一制、出生背景、色彩重視度、

## New Sports の台頭

自然環境型，経済的側面など研究対象となろう。年齢・体力・能力別の大会が続々と行われており，将来的にはニュースポーツの安全性，運動量，技術的難易度，などから整備や研究をすすめ，参加，利用，選択，を促す積極的な取り組みが必要と思われる。さらには一歩踏み込んで普及への政策的支援なども研究対象となろう。

ニュースポーツを次のように分類した。

- 民族スポーツの移入・流入・輸入
- 既存スポーツの簡易・縮小・簡略
- 既存スポーツの複合・改革・改編
- 既存スポーツの改良・発展・拡大
- 新しいスポーツの創造・開発・開拓
- 既存スポーツの女子種目新設
- 精神的な活動を伴ったスポーツ
- その他

## ニュースポーツの系譜

## 陸上系

ウオーキング，ウオークラリー，オリエンテーリング，ウルトラマラソン，エキデン，スリーデーマーチ

## 複合系

バイアスロン，デュアスロン，トライアスロン，ウエイトレスレース，ストレッチャーレース，バスケットピンポン，ディスクゴルフ，ターゲットバードゴルフ

## 体操系

ラバーバンド，トランポビクス，エアロビックス，エアロファンク，エアロステップ，ラウンドダンス，スポーツアクロ

## 体操型・その他

スポーツバトントワリング

## ボールゲーム・コート型・ホッケー系

フロアーホッケー，ストリートホッケー，ユニバーサルホッケー，ユニホッケー，ユニカール，ユニホック，ボックスホッケー，ポリーホッケー，ピロポロ，スーパーホッケー

## ボールゲーム・コート型・バスケットボール系

ポートボール，ハーフコートバスケットボール，ゴールハイ，スリーオンスリー，ストリートジャム，サイドラインバスケットボール，ミニバスケットボール，21点バスケットボール，ネットボール，ナインコートバスケットボール，コーフボール

## ボールゲーム・コート型・サッカー系

ミニサッカー、ラインサッカー、フットサル、ファミリーサッカー、サロンフットボール、簡易サッカー、ソフトサッカー、ガーデンフットボール、インドアサッカー、8人制サッカー、ファイブアサイド、クライネフッスパール、ミニコートサッカー、小球、ごちゃまぜサッカー、円陣サッカー

#### サッカー系・蹴上げ型

フットバッグ、チェンソー、蹴鞠

#### ボールゲーム・コート型

タッチフットボール、タッチラグビー、デッドボール、ビーチドッジボール、フィールドハンドボール、スーパーフットボール、スピードボール、チェックボール

#### ボールゲーム・コート型・バレーボール系

ソフトバレーボール、ワンタッチバレーボール、ネットボール、ビーチバレー、ビーチバレーボール、簡易バレーボール、ソフトミニバレー、ミニソフトバレーボール、シッテングバレーボール、ふうせんバレーボール

#### ボールゲーム・コート型・ネット型・テニス系

ソフトテニス、エスキーツテニス、ラケットテニス、サークルテニス、フリーテニス、リアルテニス、ファミリーテニス、パドルテニス、バウンドテニス、ハーフコートテニス、タスポニー、パンポン、ハンドスマッシュゲーム、リングテニス、プラットホームテニス、テニスバッド、ラウンドテニス、ショートテニス、フッジョーテニス

#### ボールゲーム・コート型・ネット型・卓球系

ミニピンポン、ラージボール卓球、円形卓球、ホームピンポン、スルーネットピンポン

#### ボールゲーム・野球系

ティーボール、21点野球、ワンアウトボール、ヒットピンベースボール、フットアンドキックベースボール、キックベースボール、クロスアウトベースボール、三人組野球、シックスベースボール

#### ボールゲーム・クリケット系

カンガークリケット、カンガーボール、ヤングライオンボール、クイッククリケット

#### ボールゲーム・ゴルフ系

ゲートゴルフ、クロッケーゴルフ、グランドゴルフ、ブラゴルフ、ベビーゴルフ、パットパットゴルフ、パーリング、パークゴルフ、マレットゴルフ、クロックゴルフ

#### ボールゲーム、ビリヤード系

バンパー、リバシー、ランボール

#### ボールゲーム・クロッケー系

アソシエーションクロッケー、カントリーボール、レクリエーションクロッケー、ゲートボール

#### ボールゲーム・スカッシュ系

スカッシュラケット、フラッシュボール、ハイアライ、リコシュ、ラケットボール、ウォールハンドボール

#### ボールゲーム・ペタンク系



## New Sports の台頭

ソフトペタンク, ボッチャー, プロバンサル, ニチレクボール, ローンボウルズ

ボールゲーム・ボウリング系

ミニボウリング, インドアローンボウルズ, ビーンボウリング, ローンボウリング

ボールゲーム・その他

テザーボール, ラケボー, フライボール, トラックボールゲーム, ダブルソフトラケット, トラックボール, エンドボール, シャワーボール, トラップボール, バンディボール, ボウルズ, バウンズボール, キャプテンボール, コーナーボール, シャトルボール, スピードボール

フライゲーム・バドミントン系

ミニバドミントン, ピックルボール, ファミリーバドミントン, ペロック, バトボン

フライゲーム・フリースビー系

フライイングディスク, アルチメット, アキュラシー, フリスビードッグ

空間系

ハングライダー, パラシュートフライイング, パラグライダー, スカイサーフィン, スカイダイビング

空間系・乗り物型

熱気球, モーターグライダー

空間系・カイト型

デュアルカイト, スポーツカイト

山野系

フリークライミング, ボルダリング, ネイチャーエクスプロアリング

山野系・冬季型

アイスクライミング, ネーチャースキー, アップスキー

乗り物系

一輪車, ローラーホッケー, スケボー, インラインスケート, インラインホッケー, キグレース, ドッグスレッド, BMX, グラススキー, ラート, ウエッキーボード, ボタリング, バイコロピクス, ローラーフレード, マウンテンボード

乗り物系・水上水中型

ウエイクボード, ヨットランド, パワーボート, マリンジェット, ジェットスキー, 水上スクーター, 水中スクーター

雪上系

スノーボード, カーリング, 長靴ホッケー, スノーホッケー, スポーツ雪合戦

雪上系・スキー型

エアリアルスキー, モーグルスキー, バレースキー, ナスターレース, ミニジャンプスキー

雪上系・力くらべ型

氷上つなひき

### 力くらべ系

綱引き, パワーリフティング, アームレスリング, フィンガースリー, モンゴバット, スポーツチャンバラ, スマック, アルチメットファイト

### エスニック系

カバディ, ペンチャックシラット, ウーシュー, シンティ, トラチトリ, ブーメラン, ペイロン, コシチ, ガラリキー

### エスニック系・ボールゲーム型

セパタクロウ, ラクロス, オーストラリアンフットボール, スポールボール

### エスニック系・力くらべ

サンボ, チタオバ, バレリダフ, リンギャ, テコンドウ

### エスニック系・ジャンプ型

バンジージャップ

### エスニック系・精神活動型

大極拳, 躰道, 古武道, 気功, ヨーガ

### ジャンプ系

サークルジャンプ, ロープジャンピング10, バージャンプ, ミニジャンプスキー, ベースジャンプ

### 投げ飛ばし系

輪投げ, ホースシューズ, アトラックゲーム, 鉄輪投げ, クロリティ, カラーリング, たまご投げ, 長靴飛ばし, 下駄飛ばし, スイカ種飛ばし

### 的当て系

ダーツ, フリーフロー, 安全吹矢, ランニングターゲット射撃, フィールドアーチェリー, ボウガン, ヒューストン

### 水中系

フィン水泳, フィンスイミング, ライフセービング

### 水中系・ボード型

ボディボード, ウエイクボード, ウインドサーフィン

### 水中系

スライダー, スキューバダイビング, ウエーブスキー, ラフティング, トローリング

### 水中系・ボールゲーム型

水中ラグビー, 水中ホッケー, ウォーターバスケット

### 水中系・ダンス型

水中エアロビ, アクアダンス, ウォーターエクササイズ, ウォーターバレー

### レクリエーション型

インディアカ, ボンクエ, けん玉, ルーパー

### レクリエーション・ボールゲーム型

## New Sports の台頭

マジックミット, スローキャッチ, シャトルボール

その他

シンキックス, シャトルコックス, スール, バーネットクロスボー, スポレック, セネット, ステップキャット, ログッツ, メレーユ, アトラックゲーム, ロック, トロプス, ボーム, ホビーキャット, バクガモン, バーゴ, フィールドトライアル, ハーリング, クリーグ, クォータースタッフ, キャスティング, スキットルズ, ウィケット

## ニュースポーツの将来と問題点

従来の伝統的スポーツの女子種目・女子部門の新設はあまり目新しくはなくなった。以前は、女子レスリング, 女子柔道, 女子サッカーはニュースポーツとしてその可能性について大いなる期待と共に歓迎されてきたが、現在では一般的に楽しまれている。今後はますます女子部門の新設が加速され、ラグビー, ボクシング, スキーのジャンプなどの公式競技化が行われていくと思われる。距離などにもよるがマラソンなど持久的な種目は男女部門同時実施を超えて、馬術競技のように、男女差をなくす方向に進むかも知れない。ニュースポーツの将来像の一つに、ますます開放されて男女差の壁を超えて楽しむスポーツ文化があるだろう。

気がかりな現象に、精神的な活動をもとにした四次元的ニュースポーツの台頭がある。準備運動やリハビリテーション体育としての「気」や「気功」の報告もあり、また、それ自体を楽しんでいるスポーツとしての側面もある。古武道における精神的な活動、大極拳やトランス状態に接近する舞踊、さらには、シャーマニズムや宗教的儀式さえもこの範疇に含まれるとの指摘もある。科学を超える存在の認知開発は、今後とも無関心ではいられない。

今後解決を図らなければならない問題の一つに用具の開発競争がある。巨大なスポーツ市場を睨んでコマーシャルベースの駆け引きもある。新たに開発された用具をもとに、すこしづつルールを変えて、次から次ぎへと誕生するニュースポーツの存在もある。「ユニバーサルホッケー」「ニユホッケー」「ユニホック」は微妙に違うらしいが見分けがつかない。さらに「ユニバンディ」も全く同じゲームを指す名称である。背景に競技名称と商品名・登録商標の問題があり統一が難しい。

「パダカ」と「スマック」, 「フライングディスク」と「フリスビー」も同じである。少なくともスポーツの主体を、企業の倫理からスポーツを楽しむ一般市民サイドに取り戻さなければならない。

名称の問題も重要である。このままの状態で放置されたならば、いたずらに混乱を招き、一般市民への理解・定着は希薄となっていくであろう。以下に、いくつかの例を示すと、「腕相撲」と「アームレスリング」など日本語表記と外来語表記の問題, 「アクロ体操」「アクロバット体操」「スポーツアクロ体操」の使い分け, 違う競技で同名の二つの「スピードボール」, バレーボール型の「ネットボール」とバスケットボール型の「ネットボール」, さらに「ビーチバレー」と「ビーチバレーボール」の違いや「ソフトミニバレー」・「ソフトバレーボール」・「ミニソフトバレーボール」の違いも難しい。何らかの形での整理, 統合など積極的な交通整理を望みたい。

コート型	ホッケー系	フロアーホッケー, ストリートホッケー, ユニバーサルホッケー, ユニホッケー, ユニカール, ユニホック, ボックスホッケー, ボリーホッケー, ビロポロ, スーパーホッケー
	バスケットボール系	ポートボール, ハーフコートバスケットボール, ゴールハイ, スリーオンスリー, ストリートジャム, サイドラインバスケットボール, ミニバスケットボール, 21点バスケットボール, ネットボール, ナインコートバスケットボール, コーフボール
	サッカー系	ミニサッカー, ラインサッカー, フットサル, ファミリーサッカー, サロンフットボール, 簡易サッカー, ソフトサッカー, ガーデンフットボール, インドアサッカー, 8人制サッカー, ファイブアサイド, クライネフッスボール, ミニコートサッカー, 小球, ごちゃまぜサッカー, 円陣サッカー, タッチフットボール, タッチラグビー, デッドボール, ビーチドッチボール, フィールドハンドボール, スーパーフットボール, スピードボール
	バレーボール系	ソフトバレーボール, ワンタッチバレーボール, ネットボール, ビーチバレー, ビーチバレーボール, 簡易バレーボール, ソフトミニバレー, ミニソフトバレーボール, シットティングバレーボール, ふうせんバレーボール
ネット型	テニス系	ソフトテニス, エスキーツテニス, ラケットテニス, サークルテニス, フリーテニス, リアルテニス, ファミリーテニス, パドルテニス, バウンドテニス, ハーフコートテニス, タスポニー, パンボン, ハンドスマッシュゲーム, リングテニス, プラットホームテニス, テニスバッド, ラウンドテニス, ショートテニス, ファジイーテニス
	卓球系	ミニピンポン, ラージボール卓球, 円形卓球, ホームピンポン, スルーネットピンポン
ボールゲーム	野球系	ティーボール, 21点野球, ワンアウトボール, ヒットピンベースボール, フットアンドキックベースボール, キックベースボール, クロスアウトベースボール, 三人組野球, シックスベースボール
	クリケット系	カンガークリット, カンガーボール, ヤングライオンボール, クイッククリケット
	ゴルフ系	ゲートゴルフ, クロッキーゴルフ, グランドゴルフ, プラゴルフ, ベビーゴルフ, パットパットゴルフ, パーリング, パークゴルフ, マレットゴルフ, クロックゴルフ
	ビリヤード系	バンパー, リバシー, ランボール
	クロッキー系	アソシエーションクロッキー, カントリーボール, レクリエーションクロッキー, ゲートボール
	スカッシュ系	スカッシュラケット, フラッシュボール, ハイアライ, リコシュ, ラケットボール, ウオールハンドボール
	ペタンク系	ソフトペタンク, ボッチャー, プロバンサル, ニチレクボール, ローンボウルズ
	ボウリング系	ミニボーリング, インドアローンボウルズ, ビーンボウリング, ローンボウリング
	テザーボール系	テザーボール, ラケボー, フライボール, トラックボールゲーム, ダブルソフトラケット, トラックボール, エンドボール, シャワーボール, トラップボール, バンディボール, ボウルズ, バウンズボール, キャプテンボール, コーナーボール, シャトルボール
	バドミントン系	ミニバドミントン, ピックルボール, ファミリーバドミントン, ペロック, バトボン
	フリースビー系	フライイングディスク, アルチメット, アキュラシー, フリースビードッグ

## ニュースポーツの系譜

## New Sports の台頭

空間系	ハングライダー、モーターグライダー、パラシュートフライング、パラグライダー、スカイサーフィン、スカイダイビング、デュアルカイト、スポーツカイト
熱気球	
山野系	フリークライミング、ボルダリング、ネイチャーエクスポアリング、アイスクライミング、ネーチャースキー、アップスキー
乗り物系	一輪車、ローラーホッケー、スケボー、インラインスケート、インラインホッケー、キグレース、ドッグスレッド、BMX、グラススキー、ラート、ウエッキーボード、ボタリング、バイコロピクス、ローラブレード、マウンテンボード ウエイクボード、ヨットランド、パワーボード、マリンジェット、ジェットスキー、水上スクーター、水中スクーター
陸上系	ウォーキング、ウォークラリー、オリエンテーリング、ウルトラマラソン、エキデン、スリデーマーチ
蹴上げ系	フットバッグ、チェンソー、蹴鞠
	インディアカ、ボンクエ
	マジックミット、スローキャッチ、シャトルボール、チェックボール、スピードボール、けん玉、ルーパー
雪上系	スノーボード、カーリング、長靴ホッケー、スノーホッケー、ナスターレース、エアリアルスキー、モーグルスキー、バレースキー、スポーツ雪合戦、ミニジャンプスキー
氷上つなひき	
複合系	バイアスロン、デュアスロン、トライアスロン、ウエイトレスレース、ストレッチャーレース、バスケットピンポン、ディスクゴルフ、ターゲットバードゴルフ
力くらべ系	綱引き、パワーリフティング、アームレスリング、フィンガースリー、モンゴバット、スポーツチャンバラ、スマック、アルチメットファイト
セバタクロ	ベイロン、カバディー、シンティー、トラチトリ、ブーメラン、
エスニック系	コシチ
	ラクロス、オーストラリアンフットボール、スボールプール、
	サンボ、チタオバ、バレリダフ、リンギヤ、テコンドウ、
ガラツキ	大極拳、躰道、古武道、気功、ヨーガ
ジャンプ系	サークルジャンプ、ロープジャンピング10、バージャンプ、ミニジャンプスキー、ベースジャンプ バンジージャンプ
投げ飛ばし系	輪投げ、ホースシューズ、アトラックゲーム、鉄輪投げ、クロリティー、カローリング、たまご投げ、長靴飛ばし、下駄飛ばし、スイカ種飛ばし
的当て系	ダーツ、フリーフロー、安全吹矢、ランニングターゲット射撃、フィールドアーチェリー、ボウガン、ヒューストン
	シンキックス、シャトルコックス、スール、バーネットクロスボー、スポレック、セネット、ステップキャット、ロガッツ、メレーユ、アトラックゲーム、ロック、トロプス、ボーム、ホビーキャット、バクガモン、バーゴ、フィールドトライアル、ハーリング、クリーグ、クォータースタッフ、キャスティング、スキットルズ、ウイケット
	スポーツバトンワリング
体操系	ラバーバンド、トランポピクス、エアロピックス、エアロファンク、エアロステップ、ラウンドダンス、スポーツアクロ
水中系	フィン水泳、フィンスイミング、ライフセービング、ボディボード、ウエーブスキー、ウエイクボード、ウインドサーフィン、スライダー、スキューバダイビング、ラフティング、トローリング 水中ラグビー、水中ホッケー、ウォーターバスケット、 水中エアロビ、アクアダンス、ウォーターエクササイズ、ウォーターバレー、

## まとめ

台頭が著しい New Sports のリストアップと分類を行い、その成立と背景について考察した。ニュースポーツは、まさに New が主張するように、目新しさが基本的概念である。一般的には、いつでも、どこでも、だれでも、すぐできるニュースポーツ、あるいは、親しみやすく、大掛りでなく、手軽に、さらには、やわらかいスポーツなどと理解されている。ニュースポーツはおよそ次のような系譜に分類する事が可能であろう。

- 新しいスポーツの創造・開発・開拓
- 既存スポーツの改良・発展・拡大
- 既存スポーツの複合・改革・改編
- 既存スポーツの簡易・縮小・簡略
- 民族スポーツの移入・流入・輸入
- 既存スポーツの女子種目新設
- その他

将来的にはニュースポーツの安全性、運動量、技術的難易度、などから整備や研究をすすめ、参加、利用、選択、を促す積極的な取り組みが必要と思われる。さらには一歩踏み込んで普及への政策的支援なども研究対象となろう。

## 参考文献

- デヴィッド・ミラー，橋本 明訳：オリンピック革命—サマランチの挑戦，ベースボールマガジン社，1992.
- 藤原稜三：格闘技の歴史，ベースボールマガジン社，1990.
- 原田 二，真柄 浩：国民体育大会の将来展望，明治大学人文科学研究所紀要，別冊10，1988.
- 原田 二，真柄 浩：国民体育大会の変遷，明治大学人文科学研究所紀要，第31冊，1991.
- 稲垣正浩：ニュースポーツの誕生とその背景，体育科教育 '95-1，大修館書店，1995.
- 稲垣正浩：スポーツを読む，三省堂，1993.
- 稲垣正浩：スポーツを読むⅠ，三省堂，1994.
- 稲垣正浩：スポーツを読むⅡ，三省堂，1994.
- 稲垣正浩：スポーツを読むⅢ，三省堂，1994.
- 今村嘉雄：19世紀に於ける日本体育の研究，第一書房，1988.
- ユリウス・ボフス，稲垣正浩訳：入門スポーツ史，大修館書店，1988.
- 唐木国彦：やわらかいスポーツと部活動，体育科教育 '95-1，大修館書店，1995.
- 北川勇人：ニュースポーツ，体育科教育 '95-1，大修館書店，1995.
- 北川勇人：ニュースポーツ事典，遊戯社，1994.
- 真柄 浩，内匠屋潔，水村信二，古賀 初：温海町サンセットビーチトライアスロン大会継続の背景，明治大学教養論集293，明治大学，1997.
- 真柄 浩：体育・スポーツ競技名称について，明治大学教養論集289，明治大学，1996.
- 増田靖弘編，日本レクリエーション協会監修：遊びの大事典，東京書籍，1989.

## New Sports の台頭

- 増田靖弘編，日本レクリエーション協会監修：遊びの大事典・実技編，東京書籍，1989.
- 増田靖弘：スポーツ語源散策，東京書籍，1989.
- メトロポリタン出版部：初耳スポーツカタログ，星雲社，1993.
- 水野忠文，木下秀明，渡辺 融，木村吉次：体育史概説—西洋・日本—，杏林書院，1974.
- 文部省競技スポーツ研究会編：見るスポーツの振興，ベースボールマガジン社，1996.
- 中村敏雄：ニューススポーツと学校体育，体育科教育 '95-1，大修館書店，1995.
- 中村敏雄編：スポーツ文化論シリーズ①スポーツの伝播・普及，創文企画，1993.
- 中村敏雄編：スポーツ文化論シリーズ②スポーツのルール・技術・記録，創文企画，1993.
- 中村敏雄編：スポーツ文化論シリーズ③スポーツをとりまく環境，創文企画，1993.
- 中村敏雄：スポーツ・ルール学への序章，大修館書店，1995.
- スポーツ大百科刊行会，日本体育協会監修：スポーツ大百科，新東京出版，1982.
- 大橋美勝：みんなで楽しむニューボールゲーム，不昧堂出版，1991.
- 佐伯聰夫：ニューススポーツと学校体育のイノベーション，体育科教育 '95-1，大修館書店，1995.
- サントリー不易流行研究所編：スポーツという文化，TBS プリタニカ，1992.
- 佐藤 靖：球技の分類論の課題，体育方法専門分科会会報，日本体育学会体育方法専門分科会，第27号，1995.
- 関 春南，唐木國彦編：スポーツは誰のために—21世紀への展望，大修館書店，1995.
- 清水良隆，紺野 晃：ニューススポーツ百科，大修館書店，1995.
- 大百科事典，下中邦彦編，平凡社，1986.
- 篠田基行：スポーツの思想—スポーツ・ヒューマニティへの序章，技術書院，1995.
- 総合就職問題研究会編：スポーツ関連資格，ナツメ社，1996.
- 寒川恒夫監：日本スポーツ史，日本図書センター，1996.
- 寒川恒夫監修，伝統スポーツ国際会議実行委員会編：21世紀の伝統スポーツ，大修館書店，1995.
- 杉山 茂：マスメディアとニューススポーツ，体育科教育 '95-1，大修館書店，1995.
- 大修館書店編集部：ビジュアルスポーツ小百科，大修館書店，1994.
- 寺島善一，高岡 享：英国における青少年のスポーツ活動の定着，明治大学人文科学研究所紀要，第38冊，明治大学人文科学研究所，1995.
- 土江博昭：学校・社会連携によるニューススポーツ，体育科教育 '95-1，大修館書店，1995.
- 通産省産業政策局編：スポーツビジョン21，通産産業調査会，1992.
- 山口泰雄：地域の活性化とニューススポーツ，体育科教育 '95-1，大修館書店，1995.

(まがら ひろし)